

# 少額調達案件見積依頼

## (オープンカウンター方式)

- 1 件名  
自動二輪車乗務員養成訓練業務委託
- 2 品名及び数量  
仕様書のとおり。
- 3 規格等  
仕様書のとおり。
- 4 履行期限  
令和7年12月19日（想定される履行期間は仕様書のとおり。）
- 5 履行場所  
仕様書のとおり。
- 6 留意事項
  - (1) 請負業者は仕様等に疑義がある場合には、皇宮警察本部支出負担行為担当官（以下「担当官」という。）に説明を求めるものとし、見積書を提出後、仕様条件の不明等を理由として異議を申し立てることはできない。
  - (2) 履行については、担当官と事前に期間等を十分に打ち合わせた上で行うこと。
  - (3) 上記のほか、詳細については担当官の指示によること。
  - (4) 電子調達システムの利用
    - ア 本案件は、「電子調達システム」（政府電子調達（G E P S））対象案件である。ただし、「電子調達システム」により難しい場合には、紙による見積書の提出ができるものとする。
    - イ 履行に係る費用を全て含んだ総額を税抜で提示すること。その場合の契約金額は、税抜総額に税額を加算した金額とする。  
なお、総額のほか内訳価格の提示を妨げるものではない。
    - ウ 本案件で同額の見積が2人以上ある場合の「くじ引き」は原則として電子調達システムを利用して行うので、電子調達システムを利用せず見積書を提出する場合にも任意の3桁の数字（電子くじ番号）を記載すること。記載の無い場合は、皇宮警察本部が無作為に番号を付与することに同意したものとする。
  - エ 7(2)の見積書において最低価格を提示した者に対し、価格内訳書の提出を求める。
- 7 書類提出期限
  - (1) 参考見積書（市場価格調査）  
令和7年7月24日（木）13時00分まで
  - (2) 見積書  
令和7年7月31日（木）13時00分まで
- 8 連絡先  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1番3号  
皇宮警察本部会計課 装備第一係  
電話番号 03-3231-3115

# 仕 様 書

## 1 目的

側車・側衛白バイ乗務員及び将来それらを希望する皇宮護衛官に対し、自動二輪車の基本知識と技術を習得させ、技能向上を図ることを目的とする。

## 2 仕様条件

当該業務を受託するための交通安全教育及び運転技術向上のための訓練プログラム（カリキュラム）を有し、かつ、実行するに当たっての指導者並びに専門施設を有する団体又は組織であること。

### (1) 履行期限

令和7年12月19日までとする。

なお、履行は令和7年11月下旬から12月上旬の期間を想定している。

### (2) 訓練人数

4名

### (3) 施設条件

ア 本件業務を受託するものが所有、管理する施設で下記に示す施設を有すること。

(ア) 座学に使用するための屋内施設

(イ) スラローム訓練等実施のための多目的舗装コース

(ウ) 高速走行訓練のためのサーキットコース

(エ) 不整地走行訓練のための専用コース

イ 皇宮警察本部（東京都千代田区）から車両を利用して3時間圏内に所在すること。

### (4) 訓練車両

大型自動二輪車、トライアル車、モトクロス車

全て、受託者が用意する貸出車両とする。

### (5) 当本部単独の講義及び訓練とし、他の受講生が混在しないこと。

### (6) 委託訓練内容

ア 座学教養

車両構造、車両操縦理論等

イ 走行訓練

別添のとおり。

### (7) 評価の実施及び評価書の作成

各訓練員ごとに、種目別による評価をおこない、次段階に向けた助言を記載した評価書を作成すること。

## 3 訓練プログラム（カリキュラム）の作成

本訓練の実施に当たっては、皇宮警察本部担当官（以下「担当官」という。）との協議のうえ、訓練プログラム（カリキュラム）を作成すること。

なお、訓練員の個別技能の優劣、その他特別な理由があると訓練指導者が認めた場合は、担当官との協議のうえ、契約の範囲内でプログラム（カリキュラム）の変更をすることができる。

## 4 特記事項

本仕様条件及び詳細事項等の疑義については、担当官との協議のうえ、確実に確認し履行すること。

別 添

1 基本及び応用走行訓練

|   | 訓 練 種 目    | 内 容                                              | 目 的                                                    |
|---|------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1 | パイロンスラローム  | 直線上に等間隔で設置したパイロンを周回する。                           | 細かいコースの切り返しにおけるアクセル操作、ブレーキ操作、コース取り及び車両コントロール能力を習得する。   |
| 2 | スラローム      | S 字・クランク・8 の字等、複合曲線コースを設置し、周回する。                 | アクセル操作、ブレーキ操作、重心の移動、コース取り等二輪車の走行時における基本操作要領を習得する。      |
| 3 | コーナーリングの基本 | 定常円コースにおいて、指定速度まで加速し、コーナー手前で減速後、旋回する             | 自動二輪車で「曲がる」ための基本的なアクセル操作、ブレーキ操作、ハンドル操作及びギアチェンジ要領を習得する。 |
| 4 | 旋回手順の習得    | 間隔が異なる 2 本のパイロンを複数個所設置し、状況に応じた旋回姿勢を取り 8 の字走行を行う。 | 旋回時の手順を把握し、状況に応じた正しい旋回姿勢を習得する。                         |
| 5 | ブレーキの基本    | 直線道路において指定速度まで加速後、前輪ブレーキ、後輪ブレーキ及び全制動を行う。         | ブレーキの基本及び特性を理解し、安全かつ正確に「止まる」ための技能を習得する。                |

|   |        |                                            |                                                                      |
|---|--------|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 6 | 目標制動   | 直線道路において指定速度まで加速後、ブレーキをかけ、目標地点で停止する。       | 速度に応じて安全かつ正確に目標地点で停止するブレーキ操作を習得する。                                   |
| 7 | 急ブレーキ  | 直線道路において指定速度まで加速後、急制動で停止する。                | 急制動時における正しい乗車姿勢と速度に応じた的確なブレーキ操作を習得する。                                |
| 8 | 回避ブレーキ | 直線道路を指定速度まで加速後、分岐点で信号が点灯した方向に回避し、急制動で停止する。 | 危険を予測・認知後、素早く判断、回避し、安全に停止するブレーキ操作を習得する。                              |
| 9 | バランス走行 | 一本橋、狭路を使用し、低速走行時のバランスをとる。                  | 中腰、着座時における正しい乗車姿勢と低速走行時のアクセル操作、ブレーキ操作、ハンドル操作及び重心の移動によるバランスのとり方を習得する。 |

## 2 中・高速走行訓練

|   | 訓練種目      | 内 容                  | 目 的                                  |
|---|-----------|----------------------|--------------------------------------|
| 1 | ワインディング走行 | ワインディングコースを中速度で周回する。 | 中速域における旋回手順及び走行ラインの違いによる車両の安定性を習得する。 |
|   |           |                      |                                      |

|   |           |                                      |                                            |
|---|-----------|--------------------------------------|--------------------------------------------|
| 2 | 高速巡航走行    | 楕円形のオーバルコースを指定速度で周回する。               | 高速走行時における二輪車の挙動及び高速巡航走行時の安定した操作を習得する。      |
| 3 | 高速レーンチェンジ | 直線道路においてジグザグに設置したパイロンの関門を指定速度で通過する。  | 高速域における情報収集及び高速レーンチェンジ走行時の操作要領を習得する。       |
| 4 | 高速ブレーキ    | 直線道路を指定速度で走行し、指定箇所でブレーキをかけ、急制動で停止する。 | 高速域からの急制動における正しい乗車姿勢と速度に応じた的確なブレーキ操作を習得する。 |

### 3 不整地走行訓練

|   | 訓 練 種 目  | 内 容                                                 | 目 的                                                                   |
|---|----------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 1 | 不整地走行    | ダートトラックにおいて、S字・クランク・8の字等複合曲線コースを設置し、オフロード用バイクで周回する。 | 未舗装路走行時における操作要領、悪路におけるタイヤの限界の把握、スリップした場合の対処方法の体得等、前後、左右の二次元バランスを習得する。 |
| 2 | トレッキング走行 | 不整地、急勾配、段差、樹木等がある自然のコースをオフロードバイクで走行する               | 難所の多い自然のコースを使用した目的地到着、障害物の走破力等、前後、左右、上下の三次元バランスを習得する。                 |

請 書（案）

契約事項 自動二輪車乗務員養成訓練業務委託

契約金額 ￥ . -

うち、取引に係わる消費税額及び地方消費税額 ￥ . -

「取引に係わる消費税額及び地方消費税額」は、消費税法第 28 条第 1 項及び第 29 条並びに地方税法第 72 条の 82 及び 72 条の 83 の規定に基づき算出した額である。

内 訳

| 件 名              | 数 量 | 単 価 | 金 額 | 備 考 |
|------------------|-----|-----|-----|-----|
| 自動二輪車乗務員養成訓練業務委託 | 1 式 |     |     |     |
| 小 計              |     |     |     |     |
| 消費税相当額           |     |     |     |     |
| 合 計              |     |     |     |     |

受注条件

- 1 契 約 履 行 期 限 令和 7 年 12 月 19 日
- 2 履 行 場 所 仕様書のとおり。
- 3 履行遅延の遅延賠償金 履行期限の翌日から履行完了日までの日数に応じ、契約履行未済相当額に、契約締結日の国の債権の管理等に関する法律施行令（昭和 31 年政令第 377 号）第 29 条第 1 項の規定に基づき財務大臣が定める率（年の日数は閏年の日を含む期間についても 365 日で計算する。）を乗じて計算した額とする。
- 4 支 払 い 条 件 履行期限までに履行し、それぞれ適法な支払請求書を提出した日から 30 日以内とする。
- 5 支 払 遅 延 利 息 「政府契約の支払遅延防止等に関する法律」に定めるところによる。
- 6 契約解除に対する違約金 本契約事項を履行しないときは、契約金額の 100 分 10 に相当する金額を徴収して解除する。

上記の金額及び受注条件をもって貴官の指図どおり履行することをお請けします。

令和 7 年 月 日

支出負担行為担当官

皇宮警察本部会計課長 梅澤 淳 殿

住 所

株式会社●●

発 行 権 者

連 絡 先

担 当 者 名

連 絡 先